

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念として、地域の人々との交流を深め、地域の中で利用者様の笑顔を引き出すお手伝いをしていこうと職員全員で理念を活かす努力をしています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送り時に理念を唱和し、見える位置に指示し、全職員で理念の共有を図っています。笑顔を引き出すお手伝い・・・として、レクレーションや利用者様の笑顔が見られる可能性のあるイベントを多く計画しております。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族には、訪問時や家族会など折に触れ伝えていきます。地域住民の方々にはホーム見学やお茶会時にわかりやすく説明したり、イベント参加時等折にふれて実践を伝えるようにしています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方との挨拶やお茶会など気軽に出来ており町内清掃、草刈、資源回収、どんどん焼きなど地域行事に参加したり、行事等は回覧板にてお誘いしており一緒に楽しんで頂いております。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	公民館行事、ダンス教室、ホームへは習字教室、囲碁を習いに子供や父兄が訪れたり、ボランティアの方々と花壇作り、野菜作り等で交流を深めています。資源回収等に協力し、一緒に活動しております。	

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	解約時のご説明を含め、契約前の面談時や契約時に不安に思われる事などお聞きし、ゆっくりご説明を行い、ご理解を得ています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コミュニケーション時などの会話中より、不満など見受けられた時は、個別対応し可能な限り改善に向け反映させています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	急を要する場合には、管理者や職員が直接ご家族に電話にて報告させて頂いております。又、毎月生活の様子を写真撮りし、金銭管理においても領収書をお手紙と一緒に郵送しております。又、介護記録を面会時に見て頂き様子をできる限りお伝えしています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本社より入所時と、年2回アンケートを配布し書いて頂いております。意見や苦情を聞く中で改善したり回答をしています。又、「多治見だより」を年3回発行しています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個々の職員の気持ちや気づきを把握する為、BS法によるホーム内研究として実施し、意見の反映に努めています。利用者様の受け入れ等は、スタッフと相談し、決定しております。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者は、状況に応じた対応が出来るよう、シフトになるべく入れず、利用者の状態の変化に応じた柔軟な体制がとれています。病院受診等、ご家族に協力し、可能な限り職員で対応に努めています。	

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動離職は最小限に留め変わる場合は、家族に手紙で知らせたり、利用者にもダメージを少なくするよう努めています。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修は岐阜事務所にてスキルアップ研修を開催し無理なく参加できる機会を設けています。月1回新人・リーダー・管理者研修がありホームに持ち帰り勉強会を行っています。	○	B S法やQCの勉強会や研究会をしており、個々のモチベーションUPとスーパーバイザーによるスーパービジョンに努めており、スタッフが確実にレベルアップしてきています。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームホームさんと花見交流会、いちご狩りに行ったりと利用者様、職員共々交流を深めています。又、職員同士のサービス向上を目指し、情報交換に努めています。	○	他グループホームへの見学を実施しております。今後はさらに交流できる地域の同業者との交流を深め、勉強会などサービスの向上に努めたい。又、ご家族を交えた交流をしたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の疲労やストレスに気を配り、休憩時間には長いすを置いたり、マッサージ機の設置により、ゆったりとくつろげる配慮をしています。今後、職員のメンタルヘルスの研修や個々との面接やゆっくり話を聞く事でストレスの軽減に努めたい。食事会等、スタッフ間で実施しています。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員評価制度、資格手当、優秀ホーム表彰、優秀管理者表彰制度があり、頑張った職員には昇格や給料と還元されるため、向上心のある職員が働き甲斐をもてる環境作りに努めています。	○	職員の資格取得に向けた支援を行いながら、QC活動等を通し、利用者様がどんどん元気になれる姿等を実感することで、更なる向上心につなげるための実践をしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前アセスメントの際、事前にケアマネさんやご家族より情報を得、ご本人に聞かない方がよい事柄なども周知し、再度ご本人から生活歴や好きな事、大切にしている習慣、困っている事など、しっかり聞き取る事で信頼が築けるよう努めています。又、体験入居や見学、訪問等して頂いております。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族との話など聞く中で、納得いくまで一緒に考えたり、ホームを利用して頂き、安心して頂けるように努めています。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の気持ちを大切にし、カンファレンス、ケアプラン立案時サービス提供を検討しています。生活歴を知る事でご本人やご家族への出来る限りの支援に努めています。	○
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前にアセスメントや話し合いを充分とり、ご本人やご家族の希望を大切にし、レクリエーションやおやつの時間など負担の少ない時間帯を利用して体験生活も行っています。半日から1週間の方もあり、職員、利用者様とも馴染みめる配慮をしています。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人に出来る事を引き出すお手伝いをしながら共に寄り添い行動を共にする事で、職員も教えられ、喜怒哀楽を共感し、共に支えあう関係を大切にしています。自立支援の基本的な支援をする中で、共に生活をする家族として、ゆったりのんびりと共感できる生活創出の支援に努めています。	

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームの行事やレクレーションになるべく参加して頂けるよう声かけし、利用者様の様子を常に知って頂き、共に支援での協力が出来るよう蜜にコミュニケーションを取っています。	○	ご本人の様子をなるべく多く発信できるように、ホームに来て下さるよう、行事計画の充実化に努め、利用者様、ご家族、スタッフが共に支援してゆけるよう努めています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ホームでの穏やかな日々の楽しい生活の様子を写真のアルバムなど見て頂き、ご本人とご家族の会話が弾むような環境で楽しく過ごして頂けるよう配慮しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのスーパーへの買い物や、公園へ他者と行ったり、昔の食べ物を探して食べたり、友人や親戚の面会や電話連絡もあり職員もその事を理解し支援しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	会話を楽しんだり、レクを一緒に楽しむ相手やトラブルを起こしてしまう相手を把握し、支えあえるよう努めています。又、孤立しやすい方への声かけで共に楽しい時間を過ごして頂けるよう、常に気配りをしています。	○	1 F フロアーへ利用者様開店の喫茶店に声をかけあって飲みに行ったり、一緒に散歩、花壇の水撒きに行っている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご家族からその後の様子を聞いたり、訪問したり、相談を受けたりしています。入院された場合など根気欲面会に行く事で、様子を知ったり、ご家族の心の支えになったりしています。(介護ベットの調達、衣類等の配慮等、自主的にサポートしております)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴やご家族からの希望などから、利用者様本位の生活支援に努めています。一人一人の思いを交流や会話から引き出し叶える努力をしております。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントにより、更に生活歴などを知るためにご本人やご家族の協力を得て、把握に努めています。現在、ダンス教室への通所、毛筆教室開設、スロット、麻雀、カラオケ教室、料理、洗濯等、その方らしく生活しておられ、その支援に努めています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個別にケア評価表を作成しており、ケアプランにそって現状に添って現状把握をしっかりとできるように努めています。毎日の健康状態を日勤リーダーがしっかりと把握する事で、ご本人がしたい事をして頂けるよう支援に努めています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様が自分らしく暮らせるように、BS法の活用やホーム内研究をする事で、ご本人へ寄り添える介護や笑顔引出しへの介護に努め、職員間の統一介護に努めています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況変化があれば、その都度カンファレンスを開き、必要があれば、モニタリングし、それを元にご本人・ご家族と話し合い、ご家族の意見等も入れ現状に即した計画書に変更しています。	

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録・モニタリングシート・ケアプラン評価表を元にケアカンファレンスを行い、計画の見直しに活用しています。ケア評価表の日々充実を図る事で介護計画を意識し、ご本人に寄り添えるケアに努める事ができています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の要望に応じ、通院介助したり、囲碁教室・ダンス教室・書道教室・地域住民にホームを開放し、多機能性を活かし、柔軟に支援しています。又、個別の買い物希望があれば、職員が同行し寄り添っております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方達には行事の参加、花植えなどにも協力して頂き、又、地域学校の資源回収などにも参加させて頂いています。運営推進会議・消防訓練・ホーム行事等に参加して頂く事で、理解や協力が得られるよう努めています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特養の申請や入院され医療行為が常時必要となった時には、すみやかに地域のケアマネ（社協）に相談し、ご本人やご家族へのバックアップを行っています。又、ご本人の希望や体調に応じて、訪問理容サービスを利用してもらっています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に出席して頂いており、ホームでの活動や様子を常時伝えてある為、必要時には対応できるよう努めています。		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前にかかりつけ医の説明をし、任診や急変時ホームから受信できる旨をお話しています。又、馴染みの病院を希望される方には、ご家族対応で受診して頂き、医療機関と薬や身体状況について情報を共有できる関係を作っています。提携医の月2回の往診があり、常に気軽に相談指導受けられるよう関係にあります。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医はいますが、認知症に詳しく、親身に相談、助言をいただいています。CT・MRIが必要と思われる際は、機材のある病院とも連携をとって頂いています。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	NSや薬剤師さんに会議やカンファレンスに参加して頂き、知識や相談・アドバイス等の指導を得ています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、ご本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞うようにし、又ご家族とも情報交換しながら、回復状況等速やかな退院支援に結びつけています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度の医療を必要と予測される利用者様については、職員で話し合っているが、終末期のあり方についてご家族の意向を確認させて頂いています。常時、医療行為が発生しなければ、出来る限りホームで過ごして頂けるよう支援体制を整えています。	○	適切な介護が出来るよう研修等行い、医療の知識を学んでもらい、指導していきたいです。今後の課題として、スタッフ間で充分話し合い学習する必要性を感じる為、学習の場を広げています。(ユニット会議・リーダー会議等)
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	認知症の進行と老化による機能低下が考えられる為、早期異状を発見し、早めにご家族に報告させて頂き、かかりつけ医に受診し相談しています。	○	ご家族の希望等考慮しながら、ホームでの支援を可能な限り受け入れる体制を整えているが、今までの所医療発生と共に病院へ移られる方が多くなっています。

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	新しい住まいでも、これまでの暮らしの継続性が損なわれないようにこれまでの生活環境・支援の内容・注意が必要な点について情報提供し、きめ細かい連携を心掛けています。又、実際に来所して頂き確認してもらい情報交換しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物の持ち出しはしない、押し付けな言葉掛けをしない、自己決定出来る声かけをし自尊心を損ねない態度など配慮し、管理者・職員共に徹底しています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者様に合わせた声かけ、意思表示が困難な方には表情を読み取り、ささいな事でもご本人が決める場面を作るよう心掛けています。又、体力維持のため、体操、散歩、家事、畑仕事など行っています。ご本人の希望により習い事も入会されています。	○	毎朝のリハビリ体操、ラジオ体操を行っています。外食や買い物等、自分の財布とお金を準備し、ほしい物や食べたい物を自分で決めて選択して頂けるよう支援しています。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩、外出、買い物、フットマッサージ、カラオケ等、ご本人がその日に希望されている事に出来る限りより添えるように努めています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出時にはお化粧されたり、着替えをされたりとお洒落をする楽しむ支援をしています。又、移動理容室を利用されたり、近隣の美容師さんをお願いして、部分的な毛染めをされたりする方もおられます。白髪を気にされておられる方は、ホームで本人の希望する色に染めておられます。		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>毎日の食事を楽しむために食材から選んで頂こうと、毎日の食材の買出しに職員と共に行っております。調理から配膳まで全てにおいて、利用者さん中心に行い、下膳も自主的に行うよう支援しています。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>1Fフロアにて喫茶店にがあり、利用者様も楽しまれています。花見や立食パーティ、五平餅ガーデン等希望される方にはビールを飲んで頂き、楽しんで頂いています。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>書道教室の開設、ダンス教室への通い、麻雀、パチンコ、カラオケ喫茶、買い物、台所仕事等、本人様が楽しみにしておられる事を支援し、活動を広げてゆけるようサポートしています。</p>

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物、外出レクではお店の方にご協力頂いて皆様に財布や鞆をお渡しし、ご自分で支払って頂いております。自分の財布からお金を出す事で、社会性の維持につなげています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご本人が行きたいと思う場所への外出レクは予め計画を立て、職員の勤務調整を行ったり、場合によっては家族の協力を依頼したりとご家族の協力のもとに行っています。居室に閉じこもりの方などは個別にお誘いしています。天候や健康状態が良ければ、その都度対応しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	他のフロア利用者様との外出レク、買い物、モーニングコーヒー、ドライブ、温泉外出、バス旅行等、楽しんで頂けるよう支援しています。	○	ご家族と一緒に楽しめる旅行や一泊旅行等、今後計画していきたいです。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様と相談して、本人様の希望があれば電話をして頂いています。毎年、年賀状と暑中見舞いが出せるよう支援を欠かさず行い、利用者の希望に応じて手紙を出せるよう支援しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問できて安心して談笑できる環境を作っています。あくまでも家庭に近いように工夫しています。ご一緒にお茶を召し上がられたり、くつろいで頂いています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティング、日々の申し送りの中で、身体拘束のないケアを意識し、振り返っています。ユニット会議や学習会で学び、スタッフ間で統一介護に向けて意識しています。		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	その都度、再発防止のためのカンファレンスの場を設けている。緊急時の対応マニュアルの充実ができています。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	運営推進会議等を通し、地域の方への協力体制が得られるよう働きかけているが、更に多くの方に声かけしていきたいです。

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (3F)


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	リスクアセスメントを作成し、病状や身体状況、環境面、内服薬からみられるリスクをはじき出し、ご家族に説明し、職員と共に協議しながらプランを立案します。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックを毎日行っているため、様子観察を全ての職員が把握し対応できるよう徹底するために申し送りを確実に実行するよう努めています。変化に気づいた時には直ぐに管理者に報告すると共に職員間で共有し対応にあたっています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルの作成や処方箋のコピーをケースに整理し、どのような薬を飲んでいるのか、又、薬の副作用から来るリスクを把握し、早期に異状を発見できるよう努めています。又、内服拒否、誤薬の際にはかかりつけ医に電話にて指示を仰いでいます。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝、牛乳、冷水等飲んで頂いたり、繊維質の多い食品を提供し、朝食後のトイレ誘導を行うなど薬に頼らず予防を含め、ケアに努めています。又、日中体を動かし、自然に排便できるように取り組んでいます。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を全ての職員が事業所内の研修で理解し、肺炎を予防するよう努めています。義歯の方は、毎日ポリデント消毒を実施しています。毎食後の口腔ケアも一人ひとりの力に応じた歯磨きの手伝いを支援しています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の立てた献立で調理を行い、形状・かたさ・量など個人に合わせ、調整しています。食事や水分摂取量も毎日チェックしており、栄養摂取量を把握し、職員が情報を共有している。毎朝起床時に波動水200cc飲んで頂いている。		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルがあり、感染予防や二次感染対策を行えるようミーティングにて学習しています。日常では、手洗い・うがい励行、手拭はペーパータオルを使用し、手すりや床は毎日消毒・掃除し、食器やふきん・まな板の消毒は毎日行っています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	日曜日の日勤スタッフが冷蔵庫の掃除担当で安全に努めています。食材は毎日買い物に出掛け新鮮な食材を使用しています。感染予防の学習・手洗い・うがい励行を行っています。	○	ふきん・まな板等毎日消毒しており、コップ・茶碗なども曜日を決め消毒し、衛生的な物を提供しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入居者手作りの表札とベンチ・プランターに四季折々の花を利用者様と植え替え、玄関前に自然な飾りつけ、温かみを感じて頂ける工夫をしています。玄関先は常にオープンです。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の家での過ごし方、馴染みのもの等知り、情報を活かしながら、居心地良く自分なりの活動がしやすくなるような工夫や配置を利用者様と一緒に演出できる空間作りに努めています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアの飾りつけやソファの位置等、利用者様と共に考え、居心地の良い空間で自由に移動でき、戸外には、中庭や藤棚等があり、涼を感じながら花を見てゆっくり休憩できる居場所作りを工夫してあります。		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (3F)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・生活暦を生かし、毛筆教室を開催、ダンス教室、大正琴、詩吟、麻雀、カラオケ喫茶等、本人様が自分のやりたいことを見つけ楽しく生活して頂くための支援をしています。
- ・食料品を毎日、利用者様と買出しに行き、その日に食べたい物を聞き、新鮮で好みのものが提供できています。
- ・外出、外食レクの充実を図り、自分の財布や鞆でお金を個々に支払い、好きな物を買ひ、自己の意志と自立支援に努めています。
- ・茶碗、湯飲みに名前を入れる事で、お手伝いの幅が広がり、字を読む事、名前を呼ばれる事、返事をする事の効果期待があります。
- ・毎月行うバイキング食で、普段食べられないもの(希望を聞く)と一緒に作り、化粧やおしゃれをする楽しい一日を過ごす事ができています。
- ・他施設と交流を深め、バス旅行の機会が増えました。
- ・外庭に南紅梅、ゴーヤ、キュウイフルーツの木を植え、収穫できる日を楽しみに水撒きの仕事を共有できています。